

1年A組

学級通信

サンドイッチ



令和6年10月18日 第9号

担任 松永 大生

文化活動発表会お疲れ様！！

先日の文化活動発表会で、1年A組は「明日へ」を歌いました。最後まで1Aらしさ全開で戦ってくれました。約1ヶ月という短い練習期間でよくここまで仕上げたと思います。まずは、皆さんに「ありがとう」という気持ちと、「賞を取らせてあげられなくて申し訳ない」気持ちでいっぱいです。最初は、全然音が取れなかったり、リズムがぐちゃぐちゃ、女子は声が出ない、男子はひどいイガリ声。とても多くの課題がありました。

1年生ということもあり、賞を取るということは人一倍努力しなければならないし、その分膨大な練習量が必要でした。なので君たちは、昼休憩を返上して、歌練習に取り組みましたね。他のクラスが遊んでる中でも君たちはコツコツ練習を積み重ねてきました。その成果もあり本番は気持ちの乗った歌を歌ってくれました。私の中で今年の合唱練習は1年生ということもあり、“楽しさ”と“合唱コンの礎”を重視してきたつもりです。もちろんいろいろ思うところはあるかもしれませんが、多くの人が楽しく合唱練習に取り組んでくれたのではないかと思います。そしてこれから2年生、3年生の合唱コンクールに向け、君たちのベース（土台）になったものではないかと思います。

今回の文化活動発表会の活動をするにあたって、先生は皆さんに言ったことがあります。それは「マイナス発言禁止」です。実際に練習をしていても思うように歌えなかったり、全然声が出なかったり、それでも先生には“声を出そう”と言われてたりと、様々な思いがあったと思います。しかしクラスの中で誰一人としてマイナス発言をしなかったところが今回の素晴らしい合唱につながったのではないかと思います。昼練習に、放課後練習、音楽の時間や学活の時間など、これまでに経験したことのないくらい歌に全力を注ぎ込んだと思います。中にはもう飽き飽きしてた人もいるかもしれません。（笑）しかし文句一つ言わず、嘘でも「よっしゃ！、やってやろう！！、頑張ろう！！！」という声が聞こえてきました。でもこれは私自身すごく大切なことだと思います。どんなときでもポジティブに、みんなでプラスの声かけをしながら活動していく。これが本来の学級のあり方であり、集団でのあり方でもあると思います。そして何よりこれから生きていくうえで大切なことだと思います。そんなこんなでとにかく君たちは一生懸命練習に取り組んできました。

迎えた当日。結果は残念ながら賞を取れず、、、、、、。私は悔しさでいっぱいでした。皆それだけ練習をしたし、それだけ頑張ってきた君たちだったからこそ、悔しさでいっぱい、君たちに申し訳ない気持ちでいっぱいでした。それと同時に、心の中では「やり切った」、「1年生頑張ったし可愛かったし、いいか、…」という気持ちにさえしてくれました。それだけ君たちの頑張りに心を打たれました。

【みんなの振り返りより】

- 文化祭を見に来てくれた親も楽しそうだったし、中学生全員楽しそうだった。来年は歌で 1 位を獲りたい！！
- 歌を楽しく歌えてよかった。他のクラスの歌は迫力があってすごかった。来年は金賞を獲りたい。職場体験の発表があり、仕事をするに少し興味を持った。
- 歌をしっかりと歌いきってよかった。来年度はみんなで1位を獲れるように頑張りたい。
- 賞を獲れなくて悔しい思いをしました。3年生の声はすごくて、女子の人はしっかり声が出ていた。来年度は一人一人が大きな声を出して、文化祭をみんなで盛り上げていきたい。
- 練習の時より声は出たけれど、体を使って歌うことができなかった。少し笑顔で歌えたけれど、緊張しすぎて笑顔がどんどんなくなってしまった。聞く姿勢はどの学年よりいい姿勢ができていたと思います。来年は金賞を獲れるように頑張ります。
- 初めての文化祭で、合唱も部活も全力でやり切ることができました。合唱で賞が獲れなかったのは悔しいと感じました。来年は賞を獲れるように今回よりみんなと団結して頑張りたいです。
- 来年度に向けて、より一層文化祭が楽しめるように1年生の時よりもレベルを上げて挑戦したい。
- 大きな声で歌えたけれど、3年生と比べて僕たちはまだまだだということを感じました。来年度は次の1年生の見本になれるように頑張りたいです。
- 歌はみんなで全力でできたのでそこが一番良かったと思った。総合の発表はゆっくり言えた。来年も発表したいし、英語がわかるようになりたい。
- 合唱の時に緊張してしまって声が出なかった。でも一人一人が頑張っていた。来年は緊張しても声を出す。
- 合唱楽しく歌えた。吹奏楽部の演奏も練習から頑張ってきたので来年も頑張りたい。
- 初めての文化祭でやり切ることができた。来年は金賞を獲りたい。
- 緊張したけれど楽しく歌うことができた。来年は金賞を獲りたい。
- 緊張して学芸の放送が棒読みになってしまった。声をはきはきして放送や発表をしたい。
- 他の学年の学んだことが知れてよかった。来年度に向けて合唱をもっと頑張りたい。
- 初めてで緊張したけれど、思ったより楽しかった。合唱は賞が獲れなかったけれど、みんなで精いっぱい練習できたので良かったと思いました。
- 来年度は総合の発表を試みたい。
- みんなで最後までやり切ることができたので良かった。来年度に向けて賞を獲ることができてもできなくても笑って楽しくできたらいいなと思っています。
- 来年こそは合唱コンクールで金賞を獲りたい。ステージ発表ですごく緊張したので、来年度は堂々としっかり声を出したい。
- 文化祭前にたくさん練習して、団結力や友情を深めたりして、本番で成果を出し切れてよかったです。
- 賞が獲れなかったけれど楽しかった。2.3年生の歌を聞いたら、強弱をつけていたり、体を揺らしながら体全体で歌っていたのでびっくりしました。来年度はあんな風に歌ってみたい。次こそ賞を獲る。
- 強い団結力で合唱ができたし、楽しかった。これからに生かせるいい経験になったと思う。これからもみんなと協力していきたい。
- 必死に頑張れた。でもまだ燃やせたと感じる。努力をもう少ししたかった。来年は合唱でみんなを引っ張っていきたい。
- 2.3年生は早さもちょうどよくて、大きな声で滑らかに響かせるように歌っていたので来年はスピードや滑らかさももっと意識してやりたい。

- みんなで協力してできた。合唱は練習してきたすべてを出し切れしました。総合の発表では、班で協力しながらスライドを見えやすくしたり、聞き手が聞き取りやすい声の大きさを意識した。来年度は金賞を獲れるように頑張りたい。
- 楽しみながら活動ができたけれど、当日は緊張してしまったので、来年は緊張せずに楽しみたい。
- 歌練習で、普段はあまり話さない人と仲良くなれた。来年度の文化祭はもっと歌うのを上手くしたい。
- 小学校と違い、いろいろなクラスの発表を聞くことができたから楽しかった。合唱の時、緊張して声が出なかったので来年度は頑張りたい。3年生は息がなかったのでそれをまねして来年度金賞目指して頑張る。
- ステージ発表は緊張したので緊張せずに発表したい。この学校の先生たちは、全力で文化祭をしている。
- 合唱コンクールはみんなが真剣にやってクラスが一つになっていた。来年に向けて合唱や聞く態度など今年よりもよくしていきたいです。
- 初めての文化祭で合唱は緊張したけれど、**終わったときの達成感がすごかった**。来年度は金賞を獲れるように頑張りたい。学年発表も出ることになったら頑張りたい。
- いろいろな展示物が見られて楽しかった。学年発表は発表している班の努力が伝わった。合唱では賞が獲れなかったけれど、**来年も今年のようにたくさん練習して、金賞を獲りたい**。
- 合唱コンクールや総合の発表で、みんなと協力して1つのものを創ることができ、とてもいい経験になった。今回は金賞、銀賞獲れなかったけれど、来年は獲れるように**もっと練習したい**。
- 2.3年生は緊張が見えず、大きな声ではきはきとしていたのですごいと思った。2.3年生は日ごろから大きな声で挨拶や、色々なことをしているので文化祭でも力が出せたのだと思う。来年度に向けて**日ごろか**

ら努力していきたいです。

【まとめ】

今回の振り返りを見てみると、皆さんの頑張りがひしひしと伝わってきました。今回の取り組みで自他ともに認める練習量、熱い思い、クラスの団結があったこともあり、多くの人が悔しい思いを持っていました。それと同時に多くの人がやり切ったという思いも持っていました。私自身、本番の合唱を聴いて、これでダメだったらしょうがないと思えるくらいやり切ったと思います。どのクラスどの学年も一生懸命練習していました。ただそれ以上に1Aの君たちはどこにも負けないくらい努力し、団結し練習してきたと思います。みんなをずっとそばで見えてきたからこそ断言できます。振り返りの中にもあるように、悔しいとされている人が多くいることもうれしく思っています。それだけ必死に、全力で取り組んできたあかしだと思います。そして何よりうれしかったのが多くの方が来年度に向けてもっとこうしたい、来年度は金賞を獲りたいと強く想ってくれているところです。今年あれだけ練習したにもかかわらず、今年みたいに一杯練習して、もっと練習してと、さらに前向きに考えてくれる人が何人もいるというところにまた心が動かされました。そして、みんなの振り返りの中でこんなことを書いてくれている人がいました。それは、「来年度に向けて、日ごろから努力していきたいです」。先生が言いたいことをまさに代弁してくれています。1年生でこのような考えを持っていることにまたすごいと思いました。まさしくこの通りです。日ごろの積み重ねです。日ごろの君たちの生活態度や授業の様子、人とのかかわり方、こういった人間性の部分で成長していける人が、本番で、大事な場面で、大きな力を発揮できるのではないかなと思いました。みなさんは最後までみんなできり切ってくれたと思います。「感動をありがとう!!」。「あなたたちは先生の誇りです!!」

【～これからの時代を生き抜くみなさんへ伝えたいこと～】

先生が何でこんなに賞を取ろう、頑張ってみんなでやろうと言うかというところ3つあります。

1つ目は、この合唱コンクールはみんなに**頑張ったところを評価してもらう場所**だと思うからです。もちろん合唱を評価される場所であると同時に、今までのみんなの頑張りを評価してもらう場面でもあると思います。先生は思います。一人一人この半年間、頑張ってきたと思います。些細なことでも。頑張らなかった人はいないと思います。大きい小さいはあるけれど、自分なりに頑張ってきたと思います。クラスでも他のクラスと比べ、先生は細かいし、怒られるし、圧をかけられるし、暑苦しいし、……、そんな中、頑張ってきた君たち。そういうのも含めて、今までの頑張りを評価してもらうところだと思っています。人間誰しも頑張っている人は応援したくなります。みんなが頑張ってきたというのは先生がよく知ってるし、その頑張りをこの文化祭でさらに多くの人に知ってもらいたいという気持ちがありました。

2つ目は、**勝って学ぶこと、得ることも多くある**。でもこれは勝った人にしかわかりません。もちろん人生が勝ち負けだけじゃないのも知ってる。そんなことは重々承知。でも今の世の中、結局は**競争社会**。みんなて手を取り合って一緒にやってみましょうとか言っているけれど、結局は社会全体が競争社会。受験も就職も全部。だからこそそういうときのためにも、行事一つとっても勝ちにこだわる、目標に向かって一生懸命努力する、何回だめでも練習する、失敗して、自分に嫌気がさして、周りに絶望してもとにかくゴールに向かってやらないといけない。とにかくやり上げる。そういう経験をみんなにしてほしかったというのがあります。

3つ目は、**物事に一生懸命取り組む大切さ**です。皆さんは物事に一生懸命取り組んでいますか？もちろん取り組んでいない人はいないと思います。でもここまでみんなて、クラス全員で、集団で一生懸命取り組んだ経験はないと思います。でもこれはこれからの人生に必ず役立ちます。弱音を吐かずにみんなてプラスの声掛けをしながら頑張る。できなければできるようになるまで頑張る。一番へたくそなら、他の人より練習して努力する。これらは当たり前のように結構しんどいことです。ですがこれらのことはこれから生きていくうえですべて大事なことです。勉強にしても部活動にしても全てそうです。点数が取れなければ人一倍勉強する。やってダメだったらやり方を変えてまた挑戦する、人よりうまくなりたかったら人より練習する、勝ちたければ強い想いを持って人より練習する。これが本来あるべき姿だと思います。これらのことを皆さんにはこの活動を通して、知ってほしいと思いました。

【～人生は敗者復活戦～】

「人生は敗者復活戦」。この言葉を聞いたことがありますか？これは私が尊敬している仙台育英高校野球部の須江監督の言葉です。その須江監督の言葉を借りて皆さんに伝えたいことを載せておきます。

今回の合唱コンクールでは賞を取ったクラスもあれば1Aのように賞を取れなかったクラスもあります。勝負の世界なので勝つこともあれば負けることもあります。「成功体験」もあれば「失敗体験」もあります。みなさんには今回ずっと言ってきましたが、今回の勝敗の責任は担任である私の責任です。それは紛れもない事実です。今でも「このメンバーだからこそ賞を取らせてあげたかった」、「負けさせてしまった」と後悔はあります。君たちの中にも悔しいという思いを持っている人が多くいましたね。それだけ真剣に頑張ってきた証拠です。

今後の人生で覚えておいてほしいことを載せておきます。人生というのは負けて終わりではなく負けから始まります。ずっと勝ちつづける人生はありません。勝敗という観点だけでなく、日々の練習で過去の自分たちを越えられるか、昨日よりもいいものが出せるかと常について回るのが現実です。勉強でもそうです。定期試験や、入学試験など競い合いが日常的に行われています。私自身負け続けた人生だったので、そのたびに悔しさをエネルギーに変えて、敗者復活戦で少しずつ前に進んできました。負けて勝って、勝って負けての繰り返し

しです。それまでの過程がどれだけ素晴らしくても大事なところで負けてしまったら「負けた」という事実が残ります。その事実と直面すると私自身も反省します。「現状のままではだめ。どの取り組みに問題があったのか、何かを変えなければならない」「負けたことにしっかりと向き合うこと。表面だけ見るのではなくその裏側にあったものにまで目を向けること。負けには必ず理由がある」と自分に言い聞かせています。またそういう気持ちがなければ敗者復活戦を勝ち抜いていくことはできません。

みなさんも今後の人生でいろいろなことがあると思います。もし挫折した時や、失敗したときにはこのことを思い出してほしいと思います。そこで折れるのではなく、まずはそれを受け入れ、そこからしっかり分析をし、改善点を見つけ、次につなげてほしいと思います。

【松永の1Aべた褒めコーナー】

〇今回先生は君たちから多くの感動をもらいました。それと同時に多くのことを学ばせてもらいました。ただただみんなに感謝しかありません。このクラスの担任ができて心からよかったと思うし、心から誇りに思うと同時に皆さんに心から感謝しています。本当にありがとう！！

今回の文化活動発表会での取り組み、当日の皆さんの姿には頭が上がりませんでした。今回の取り組みで先生が皆さんに**感謝したいことと素晴らしいと思っていること**を褒めちぎりたいと思います。

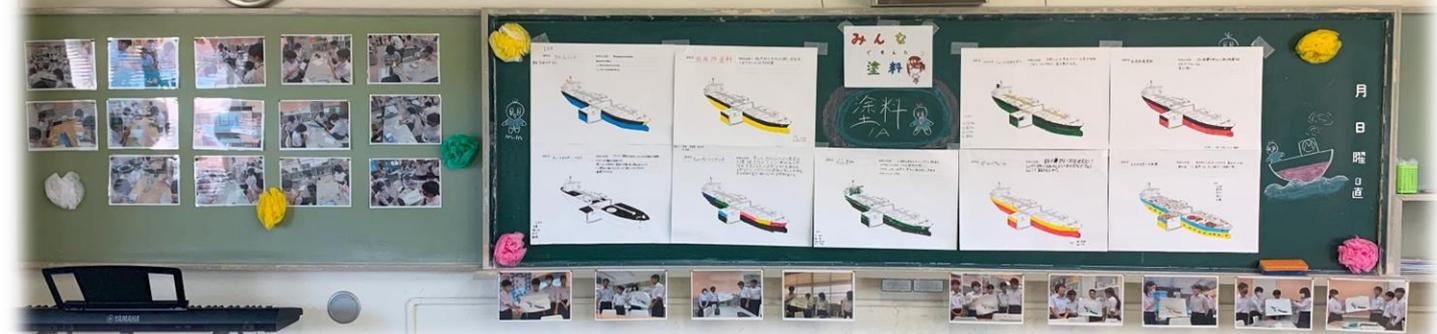
まずはどこのクラスにも負けない**練習量**。ほかのクラスが昼休みに遊んでいるときも1Aだけはずっと練習していましたね。もちろんテスト前で勉強したかった人、読書をしたかった人、遊びたかった人などさまざまとは思いますが、みんな決めた目標に向かってコツコツと練習を積み重ねてきた君たち。もしかしたらイヤイヤで気持ちが乗らなかった人もいたかもしれませんがそれでも最後までやり切った皆さんを先生は誇りに思います。ほかの先生にも言われましたが、間違いなく**この学校の中で一番練習して、1番真剣に全力で取り組んだクラス**だと思います。そこにまずは自信を持ってほしいと思います。

次に、皆さんに感心したことは、文化活動発表会当日の皆さんの見学している姿です。開会行事の前に皆さんに見学する姿もしっかりしようという話をしました。一番後ろで保護者から一番近いということもありましたが、皆さんは**どの学年のどのクラスよりもいい姿勢で仲間の発表を聞いて**いました。その姿にまた涙があふれそうでした。自分たちだけでいいというのではなく、すべての発表に対して真剣に聞く姿に、1Aの今までの素晴らしい成長を感じました。それと同時にこのクラスは本当に力があるなあと思いました。

最後に今回の活動で先生は改めて再発見したことがあります。それはいろいろな人から愛される学年だということです。もちろん君たちのことを一番可愛がって愛しているのは先生ですが、今回の活動をはじめ最近色々なところで、色々な先生に1年生頑張っているね、可愛いね、素直だねと言われます。これって実はとても大切なことです。可愛いと思ってもらえる愛嬌や素直さ、ピュアなところ、これはこれからも大事にしてほしいと思います。この世の中、結局は**人間性**です。勉強ができて、スポーツができて、歌が上手くても、ゲームができて、人間性が育っていない人は人に可愛がられません。応援してもらえません。助けてもらえません。なのでこれからももっともっと人間性を磨いてほしいと思います。君たちならできます。

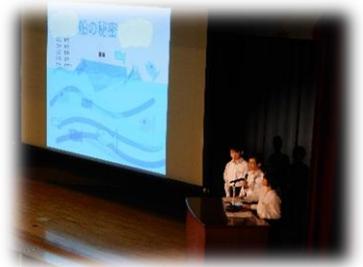
さて、毎回行事が終わるたびに言っていますが、大切なのはこの後です。どんなに素晴らしい合唱をしても、どんなに素晴らしい団結力を見せても、この後の学校生活に生かせなければ意味がありません。「さすが1A」、「1Aは元気で明るいね!」、「雰囲気がいいね」、「メリハリがあるね」、「なんでも楽しんで頑張っているね」と言ってもらえるように今後の学校生活を送っていきましょう。

掲示物も全て自分たちで考えて展示しました



掲示物のセンスも抜群 ✨





合唱も精一杯頑張りました

